

平成24年度予算を可決

第5次総合計画に沿った「まちづくり」を推進

一般会計予算 73億9641万円

3月12日から開会した平成24年第1回熊野町議会定例会に、平成24年度の予算案が提出された。審査に当たっては、議員全員で構成する「予算特別委員会（藤本委員長）」を設置し、町当局から予算の概要や各事業に関する説明を受けた。

委員会では質疑が交わされ、委員会終了後に再開した本会議では、委員長報告のとおり、全ての各予算案を原案どおり可決した。
平成24年度予算における、主要な事業の一部を左記に紹介。

区 分		平成24年度予算額	対前年度比
一 般 会 計		73億9,641万円	▲0.8%
特 別 会 計	国民健康保険事業	33億2,200万円	0.4%
	公共下水道事業	9億3,547万円	▲11.2%
	後期高齢者医療	4億6,468万円	16.6%
	介護保険	19億3,117万円	7.6%
上水道事業会計	収益的支出	4億7,174万円	▲1.6%
	資本的支出	1億3,035万円	▲49.6%

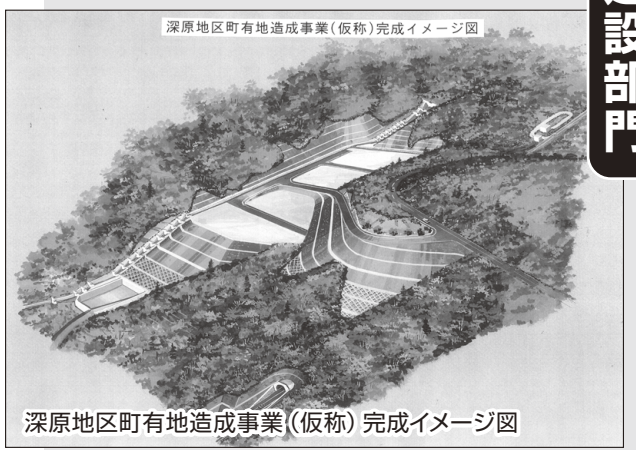
総務部門



熊野筆情報発信拠点を首都圏に整備（写真は広島アッセ）

- 熊野筆情報発信拠点（ブランドショップ）を首都圏に整備。
1,538万円
（熊野筆首都圏情報発信拠点整備事業）
- 町内で生活福祉交通車両の実証運行を実施など。
3,946万円
（交通輸送対策事業）
- BUY熊野キャンペーン（仮称）やプレミアム付商品券の発行などを実施。
1,000万円
（地域内経済活性化事業）

建設部門



深原地区町有地造成事業（仮称）完成イメージ図

- 約1.7haの流通系工業団地を造成（全体事業費は10億888万円）。
2億463万円
（（国庫）深原地区町有地造成事業）
- イノシシ、ヌートリアの被害対策、ヌートリアの防除講習会等を開催。
208万円
（鳥獣被害防止対策事業）

民生部門



防災行政無線の放送内容を電話で聞くことができる

- 防災行政無線の放送内容を電話で聞くことができるサービスを開始。
336万円
（防災行政無線難聴地域等電話音声案内装置設置事業）
→4月から総務部門へ移管
- 従前の事業に加え、障害児福祉施設入所・通所サービスの給付が県から町へ移行など。
1億4,505万円
（障害者自立支援事業）

教育部門



熊野中学校の西校舎

- 学校施設の耐震性能を向上。
 - ・第四小屋内運動場 5,551万円
 - ・熊野中学校西校舎 1億2,161万円
（平成23年度繰越事業）
- 「うちどく」として、0歳から中学三年生までの子供と家族が同じ本を読むことを勧めることで家族の絆を深め、言葉の力の向上を期する。（うちどく推進事業）

予算特別委員会での質疑

質疑の一部を紹介！

- Q プレミアム商品券はいっからを予定しているか。
A 今年の7月から9月の、夏の商戦に向けて事業を実施する予定。
- Q 固定資産税の路線価方式が、平成27年度から実施されるというが、どのように進めていくのか。
A 平成24年度から町内全域における路線間の調整を行い、より精度の高い路線価を付設し、27年度に適切な課税となるよう事務を進める。
- Q 防災行政無線を電話で聞くことができるがあるが、難聴地域は町内放送を充実させるべきではないか。
A 近々デジタル方式に施設改修する予定であるので、難聴地域はその時に対処したい。雨等で聞き取りにくい時もあるため、併用して使えるようにしたい。
- Q 熊野町は教育のまち宣言を行っている。教育部門に積極的に予算を当てて欲しいと思うがどうか。
A 人口減少が続く中、教育が盛んであることをPRできれば、人口増加にも繋がっていくのではないかと考える。
- Q 深原地区造成地の企業誘致にかかる組織はどうか。
A 平成24年から矢野安浦線のトンネル工事が本格化し、合わせて造成事業も進んで行く。企業誘致に関する係は正式に設けたいが、それまでは建設部で対応する。
- Q 熊野団地の側溝を全部直すということだが、何年かかるか。優先順位は。
A 各区の自治会長と相談し、地域を決定している。5年を目標に終わらせたいと考える。まずは、家が建っているところから取り掛かりたい。